

# 大谷地だより

## 第 59 号

発行 北星学園大学同窓会  
 札幌市厚別区大谷地西2-3-1  
 TEL (011) 891-2731  
 発行責任者 松倉 千春  
 編集責任者 事務局編集委員  
 印刷 株式会社北海道機関紙印刷所

# 短大部同窓会と統合

## 会員数四万人を越える会に

昨年十月十八日の総会において、北星学園大学短期大学部同窓会との統合が承認され、この四月一日からは、北星学園大学同窓会は、北星学園女子短期大学並びに北星学園大学短期大学部の同窓生の方々と共に、「北星学園大学同窓会」として歩んでいくことになりました。諸活動については、今まで実施の通り、大学・短大部に向けての各種支援活動、寄贈図書事業、同窓会奨励生制度、同窓会員の皆様に向けては、年二回の大谷地だよりの発行、会員相互の親睦事業として、総会・懇親会の開催等、これまでの活動と変わることはありません。

この統合を機に、大学・短大部同窓生の方々の交流がますます広がり、同窓会として一層、大学を支援していければと思います。(事務局)

### 共に手を携えて 北星学園の発展 を目指す

同窓会会長 松倉 千春

短期大学部同窓会と大学同窓会は、それぞれの総会決定に基づき今年四月一日付けで統合し、会員数四万余人を有する北星学園大学同窓会として、新たな歩みを始めることになりました。

ご承知のとおり短期大学部同窓会は長い歴史と優れた伝統を有しており、北星学園の中では大学同窓会の先輩にあたる同窓会です。このような短期大学部同窓会と今後の歩みを共にできることは、大学同窓会にとって大変な光栄であり大学同窓会を

代表して歓迎の意を表します。

大学と女子短期大学が大谷地の地で共に歩みを開始して以降、様々な分野で一体化への努力が図られてきたと聞き及んでいますが、歴史と伝統ある二つの組織が一つになるためには、予測を超えた努力が必要であったろうと推測します。短期大学部同窓会においても恐らく例外ではなく、高谷会長はじめ幹事、会員の皆様の大変な努力があったことを思い衷心より敬意を表する次第です。

今後は、短期大学部同窓会の歴史と伝統に学びながら大学、短期大学部と北星学園の発展を目指し共に手を携えて歩みたいと考えております。

末筆になりましたが、この度の統合にご尽力下さいました大友学園長(前大学学長)、遠藤前大学同窓会会長(故人)に心から御礼を申し上げます。

### 同窓会統合につ いて

短期大学部同窓会  
会長 高谷 尚子

北星学園女子短期大学同窓会は一九六一年に発足し、独自の運営を続けてきました。

しかし二〇〇二年に大谷地キャンパスに移転し、共学の短期大学部と改組されました。

そして二〇〇八年六月七日の短期大学部同窓会総会、十月十八日の大学同窓会総会において、この二つの同窓会が統合することを決定し承認されました。

大学同窓会として活動すること、二つの同窓会が新しい



大学校舎A・B館

### 大学同窓会と短期大学部同窓会の統合にあたって

学長 金井 新一

「つながり」を持ち、これからの北星学園大学発展のための大きな力となって進んで行けるものと確信しております。

この統合について学園長、大友浩先生の大きなご尽力に厚くお礼申し上げます。

憲一同窓会長や高谷尚子短大部同窓会長には、本当に一方ならぬご苦労をおかけしたことを改めて思い、心から感謝したいと思います。私が赴任する前のことではありますが、いろいろご検討され、並立か合同か、それぞれ長所短所を秤にかけた上での最終的決断ではなかったかと思えます。

先日ある他大学の方が、幼稚園から大学まで学園全体が一つの同窓会となったことで、長年の夢が叶ったと喜んでおられました。この統合について学園長、大友浩先生の大きなご尽力に厚くお礼申し上げます。

先日ある他大学の方が、幼稚園から大学まで学園全体が一つの同窓会となったことで、長年の夢が叶ったと喜んでおられました。この統合について学園長、大友浩先生の大きなご尽力に厚くお礼申し上げます。

前日から伺っていた大学同窓会と短期大学部同窓会の統合が、現実のことになりました。ここにいたるまで、今は亡き故遠藤

# 新入会員の方々へ

## 卒業おめでとう

牛の歩みも千里・母校での学びに自信と誇りを持って

同窓会会長 松倉 千春



会活動に積極的に参画し、同窓会と母校の発展に寄与されることを期待しております。

さて、皆さんは今日から実社会へと旅立つわけですが、昨秋以降のアメリカの金融危機に端を発した経済の混乱は全世界を巻き込み、日本経済も大きな後退を余儀なくされております。

ただでさえ門出の時には、不安感や期待感が入り混じった複雑な気持ちで交錯するのが常ですが、このような状況下であるからこそ皆さんには、何時の時代にも増して日本の将来を担う大きな期待がかかっているのではないかと思います。

思い起こせば、私が卒業した一九七〇年代初頭も不安定な社会状況(今とは問題の所在は異なりましたが)だったので、将来への不安感も大きかったのですが、自分にも何かができるのではないかと言う自負心も同じように大きかったと思います。

その後実社会で様々な問題に直面しながら分かったことは、どのような状況下でも不安感と

期待します。

同窓会には七つの支部があります。皆さんの職場や地域など身近な所にも同窓生がいると思えますので、大いに先輩を頼りにして下さい。そして、共に同窓会に結果し、母校を支える力となって下さい。諸君の活躍に

期待します。

# 同窓会各支部・事務局紹介

- 札幌を離れる新会員の皆様、同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。各支部への連絡先は次の通りです。
- ▼旭川支部(一九八三年発足)  
支部長 松倉 千春  
(〇一六〇)三二一七二六
- ▼帯広支部(一九八五年発足)  
支部長 樋渡 喜久雄  
(〇一五五)四八二六九三八
- ▼北見支部(一九八七年発足)  
支部長 佐々木 卓  
連絡先は北見支部結城亨さん  
北見市役所1F推進室  
(〇一五七)二五一二一八
- ▼東京支部(一九八八年発足)  
支部長 相馬 洋司  
(〇三三)三三三三八一〇六二八
- ▼函館支部(一九八八年発足)  
支部長 畑中 博史  
(〇一三八)四六一二五三七
- ▼釧路支部(一九八九年発足)  
支部長 櫛部 武俊  
釧路市役所生活福祉課  
(〇一五四)三一四四八七
- ▼千歳支部(一九九六年発足)  
支部長 二ツ川 憲昭  
(〇一二三)二四一八二四二
- ◎同窓会事務局  
北星学園大学総務課内  
佐々木、川島、樋口  
(〇一一)八九二二七三二

# 同窓会総会・懇親会開催!

## 新会長に松倉千春氏を選任 会場はホテルオークラ札幌に

去る十月十八日、二〇〇七年度の北星学園大学同窓会総会・懇親会が、ホテルオークラ札幌を会場に開催されました。

当日は、午後五時三十分から三階チャペルにおいて定期総会が行われ、故郷藤憲一会長に一同黙祷を捧げた後に開催となりました。齊藤誠会長代理による開会の挨拶の後、議長に高橋麻里子さん(一九八七年英文学科卒)、書記に樋口夏子さん(二〇〇八年心理・応用コミュニケーション学科卒)を選出し、次の五議案について協議されました。

議案一「二〇〇七年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について」は、提案どおり了承されました。

議案二「二〇〇八年度活動計画・会計予算について」は、原案どおり了承されました。

議案三「短期大学部同窓会との統合について」は大友学園長から、統合までの経過説明がな



文学部 英文学科 心理・応用コミュニケーション学科



経済学部 経済学科 経営情報学科 経済法学科

近頃の開催となり、約八十名の中での開催となり、約八十名近い各学部学科の同窓会会員をはじめ、招待教員として忍博次先生、矢口以文先生、退職された教員の石川恒夫先生がご出席くださいました。また、現職の教職員の方々も数多く駆けつけてくださいました。また、北星学園大学短期大学部同窓会からは高谷尚子会長をはじめ、松島智子幹事、諏訪かよ子道北支部長にもご出席をいただきました。

懇親会の中では、懐かしい招待の先生によるご挨拶の後、今年度の同窓会表彰授与が行われ、同窓会の活動に長く寄与された同窓生三名が表彰されました。また、特別表彰者として前会長の故



文学部 社会福祉学科 社会福祉学部 福祉計画学科 福祉臨床学科 福祉心理学科

グラントホテルからホテルオークラ札幌へと会場を移しました。例年とはまた違った雰囲気

ました。和やかな雰囲気の中、榎部武俊部長が行われ、盛会の中に今年度の懇親会を終了することができました。その後、毎年恒例の学部ごとの写真撮影が行われ、このよき日を記念に残そうと多くの同窓生が集い、貴重な一枚を納めていただきました。撮影後は、三階に設けた二次会へ三十名近く

の同窓生がご出席されました。今年度も同窓生の皆様をはじめ、関係者の方々の温かいご支援のもと、無事に総会・懇親会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。

次回の総会・懇親会は、十月十七日、ホテルオークラ札幌を会場に開催する予定です。多くの同窓生のご参加を心よりお待ちしております。

### 2007年度 収支決算書

2008.10.18 総会  
単位:円 2008.10.9 幹事会

費目	予算	決算	備考
【収入の部】			
前年度繰越金	8,345,554	8,345,554	預金(8,285,034)、現金(60,520)
同窓会費	18,200,000	19,660,000	@20,000*983名
総会懇親会費収入	220,000	402,000	@3,000*93、@1,000*61、懇親会二次会会費
プロジェクト	50,000	62,037	コンサート・講演会等募金
利息等	7,000	48,513	定期預金利息
雑収入	0	520,000	祝儀(120,000) 卒業記念図書カード現金化(400,000)
<収入計>	26,822,554	29,038,104	
【支出の部】			
I. 事務費	3,900,000	2,735,473	
1. 会議費	550,000	332,390	支部長会議、幹事会 他
2. 交通費	2,500,000	2,010,730	幹事会、総会支部招待・支部派遣 他
3. 通信費	150,000	95,627	振込料、ハガキ・切手、慶弔電報
4. 物品費	200,000	111,926	懇親会写真焼増代(86,936)事務消耗品 他
5. 印刷費	500,000	184,800	同窓会案内作成 他
II. 事業費	15,400,000	12,124,432	
1. 名簿作成費	0	0	卒業生住所録
2. 行事費	4,000,000	3,936,527	卒業生記念品(868,560)、懇親会(2,704,017)、退職者記念品(165,000)他
3. 同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈図書・DVD
4. 補助費	4,000,000	3,738,240	各支部補助(3,304,000)、英研・福祉・大学祭補助(400,000)他
5. 奨励費	1,000,000	100,000	@50,000円×2名
6. 会報発行費	3,500,000	3,073,404	大谷地だより57号、58号印刷代・郵送料 他
7. 業務委託費	1,000,000	42,000	懇親会司会者謝礼、冊子封入作業
8. プロジェクト活動費	1,500,000	834,261	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
III. 予備費	2,522,554	0	
IV. 資金積立金	5,000,000	0	
V. 次年度繰越金	0	14,178,199	預金(14,170,855)、現金(7,344)
(支出計)	26,822,554	29,038,104	

### 2007年度貸借対照表

2008.10.18 総会  
2008.10.9 幹事会

【通常会計】 2008年10月1日現在	
借方	貸方
資産の部	負債・正味財産の部
現金預金	正味財産
14,178,199	14,178,199
14,178,199	14,178,199
次年度繰越金	
	45,434,693
	45,434,693

### 包括的連携協定 締結式



平成20年度から文科省の新たな支援事業「戦略的支援事業」がはじまり、昨年8月、北星学園大学・日本福祉大学・熊本大学が共同で申請した「列島縦断広域型大学連携eラーニングコンソーシアム」による新たな高等教育の地域的展開が見事採択されました。94件の申請のうち54件が採択されましたが、そのなかでもわれわれの取り組みは高く評価されたと聞いています。これまで文科省はGPPおよび現代GPPなどの支援事業によって各大学の優れた教育活動に財政支援を行い、わが大学も2003年から3回選定されています。今回の「戦略的支援事業」はこれまでのGPPとは異なり、国公私立大学の連携の推進と「地の拠点」としての地方にある大学の教育の充実を目的とするもので、大

社会福祉教育の充実をベースとした事業ですが、各大学のすべての学生と教職員がかわる内容でもあり、3年間の財政支援が終了していきなると願っています。

### 2008年度 会計予算

2008.10.18 総会  
単位:円 2008.10.9 幹事会

費目	予算	備考
【収入の部】		
前年度繰越金	14,178,199	預金(14,170,855)、現金(7,344)
同窓会費	18,400,000	@20,000*920名(定員801名×1.15)
総会懇親会費収入	220,000	@3,000*50名@1,000*70名
プロジェクト	50,000	コンサート・講演会等募金50,000
利息等	30,000	定期預金利息
雑収入	0	
<収入計>	32,878,199	
【支出の部】		
I. 事務費	3,900,000	
1. 会議費	550,000	支部長会議(100,000)、幹事会(100,000)他
2. 交通費	2,500,000	幹事会等(50,000)、総会等派遣(本部(1,300,000)支部(900,000)他)
3. 通信費	150,000	振込料(30,000)、ハガキ・切手(60,000)、慶弔電報(30,000)他
4. 物品費	200,000	事務消耗品、懇親会写真焼増代 他
5. 印刷費	500,000	同窓会案内作成他
II. 事業費	16,400,000	
1. 名簿作成費	0	2004年度以降当面凍結(同窓会年度)
2. 行事費	5,000,000	卒業生記念品(100万)、懇親会(300万)、退職者記念品(25万)、永年表彰金(10万)他
3. 同窓会文庫費	400,000	寄贈文庫
4. 補助費	4,000,000	各支部補助等(3,304,000)、英研・福祉・学祭(400,000) 他
5. 奨励費	1,000,000	@50,000*4名分 他
6. 会報発行費	3,500,000	印刷代(1,000,000)、郵送料(2,000,000) 他
7. 業務委託費	1,000,000	名簿整備、懇親会司会者謝礼、冊子封入作業他
8. プロジェクト活動費	1,500,000	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
III. 予備費	2,578,199	
IV. 資金積立金	10,000,000	
V. 次年度繰越金	0	
(支出計)	32,878,199	

### 戦略的支援事業に採択される!

副学長 田村 信一

学問連携による教育の充実という政策がはつきり打ち出されてきました。

昨年11月には日本福祉大学において三大学による「包括的連携協定」の調印式が行われ、「eラーニングコンソーシアム」による新たな高等教育の地域的展開が本格的にスタートしましたが、この3年間にあわせて共同事業は次の3点を目的としています。①「社会福祉士法」改正に対応した新たな社会福祉人材養成カリキュラムの共同開発という観点から、eラーニングコンソーシアムの形成を通じて卓越したコンテンツ開発とそれを支えるシステムの相互開発・活用を推進し、社会福祉教育の質的向上・普及を図ること。②コンソーシアムを基礎として学生の国内留学制度を展開し、学生の人間性の成長と教職員の資質向上を図ること。③三大学がそれぞれ位置する地域の特性と価値の認識を基礎とする「地域学」の構築と交流を通じて、地域の魅力や地域づくりの先進事例などを発信し、地域の活性化に貢献すること。

### 北星学園大学同窓会役員名簿

役職	氏名	卒業年
会長	松倉千春	社69.3
副会長	藤田誠夫	経71.3
	斎藤泰夫	経71.3
	松田春樹	社69.3
旭川支部長	田倉久雄	社76.3
帯広支部長	松本喜雄	社74.9
北見支部長	佐々木卓司	経71.3
東京支部長	相馬洋博	社78.3
函館支部長	相馬武俊	社75.3
釧路支部長	中川俊昭	社72.3
幹事	阿知良一	社70.9
	中村寛一	経71.3
	有澤一睦	英74.3
	竹内和美	社74.3
	高橋千穂	経74.9
	高橋千穂	社75.3
	高橋千穂	英78.3
	高橋千穂	経82.3
	高橋千穂	社87.3
	高橋千穂	英87.3
	高橋千穂	経89.3
	高橋千穂	経89.3
	高橋千穂	経90.3
	高橋千穂	経91.3
	高橋千穂	情91.3
	高橋千穂	経96.3
	高橋千穂	経95.3
	高橋千穂	情97.3
	高橋千穂	経99.3
	高橋千穂	心00.3
	高橋千穂	英01.3
	高橋千穂	経01.3
	高橋千穂	情02.3
	高橋千穂	臨03.3
	高橋千穂	経91.3
	高橋千穂	経96.3

※任期: 2009年9月まで  
※上表は、2008年10月総会時の内容です。統合後の役員一覧は次号(9月号)に掲載いたします。

# 遠藤憲一前同窓会会長

## 追悼特別企画

### 故、遠藤憲一前会長 長を思いで

会長 松倉 千春

故、遠藤憲一前会長のご逝去に心から哀悼の意を表します。あまりにも突然のお別れのため、今もお前会長のご逝去が信じられません。

遠藤前会長との出会いは、私が大学一年生の冬に部活への入部が切っ掛けで、当時から軽音楽部の部長として活躍しておられ、その頃から先輩としての威厳があり後輩の私としては近づきたい存在でした。

いつも内から湧き上がるエネルギーは強烈であり勇気が強く決断力、判断力にも優れ、周囲にも配慮した部のリーダーとしても深く尊敬しておりました。そのような先輩の行動を通して多くを学ばせていただき私なりに今日の自分があるものと考えております。

同窓会長になられてからは各支部との交流も積極的に行い、常に「我々同窓会は北星学園大学の最大のサポーターである」ことを唱えておりました。偉大なリーダーを失った今、悲しんでばかりではありません。前会長の思いを継ぎ、全ての会員が意を共にして同窓会活動に

ご尽力下さることを心からお願ひ申し上げます。

### 遠藤会長のごこと

短期大学部同窓会  
会長 高谷 尚子

二〇〇二年四月、南四条校舎からの移転は寂しい「引っ越し」で、これからどうなるのか井の中の蛙であった。学長であった大友浩先生に「よくいらっしやいました」と笑顔で迎えられる、遠藤憲一大学同窓会会長は「同窓会は北星学園大学を支える最大最強のサポーターです。何でも話し合おう、力を合せて共に頑張りましょう」としてあの日から六年。

遠藤会長急逝の知らせは信じられない、信じたくないの気持ちです。会長の案内で大学同窓会の各支部へ伺い支部活動の様子、懇親会の楽しさなどを知りました。また短期大学部同窓会の全支部にも見えられ相互理解を深めたのです。

特に楽しい思い出は、シューティング・スターズの演奏会に二度も伺い素晴らしい特技を拝見したことです。またカラスには大変興味をもたれ、ご熱心に観察され色々話して下さい、カラスの歌のCD発行も面白いことでした。そして私の愛猫が亡



2008年撮影

### 遠藤憲一さん(享年66歳)略歴

- 1963年4月 北星学園大学文学部社会福祉学科入学。在学中、軽音楽部を創部。
- 1967年3月 同学科卒業
- 1987年10月 同窓会幹事に就任
- 1989年10月 同窓会会長に就任
- 1990年4月 学校法人北星学園評議員に就任
- 2008年4月 学校法人北星学園理事に就任

### 遠藤会長の急逝を悼む

学長 金井 新一

昨年七月に遠藤憲一同窓会・後援会会長が急逝されました。あまりにも突然のご逝去で、私たちが日ごろ世話になっていた者たちは茫然としてしまったのでした。はやその年も過ぎて新しい年が始まっております。この間、とくにご家族の皆様には、さぞお辛い心痛の日々ではなかったかと、心からお察し申し上げます。

### 遠藤憲一さんを思ふ

学園長 大友 浩

青天の霹靂としか言えないことがときに生じる。それが、二〇〇八年七月十八日に遠藤さんが亡くなったことと急逝に接したときの私の思いであった。享年六十六歳であったという。現代では、六十六歳といえは、これからという年齢である。折しも学園理事会構成の改善がなり、遠藤さんが同窓会選出の理事として、実務家の立場から様々な提言をなさることを私も期待し、本人もそのおつもりであった。

思えば二〇〇〇年に私が大学長として赴任してから、遠藤さんにはいろいろな面で支えていただいた。字数の制限もあり、具体的な点は省略せざるを得ないが、遠藤さんは、同窓会長として、大学後援会長として、ほとんどの場合ごちの意を汲んでくださった。後輩の学生諸君が良い学生生活を送るための支援を、彼は惜しまれなかった。彼の思いはその一点に集中されていたと思う。

私は個人的なお付き合いもあつたが、そういう面も含め

### 「草創期のシューティング・スターズ」

英文66年卒 深澤 秀則



2003年撮影

亡き遠藤会長には、私は二年半位のお付き合いしか出来なかつたのですが、それでも強い印象とともに記憶に残ることの多いのは、遠藤さんは大変に学園の運営のことを心配されていたこととです。大学も中高も、普通の社会では考えられないほどのんびりしている、悠長だ、という強い懸念をお持ちでした。やはり少子化のことを心配されていられたらと思ひますが、定員割れなど困ったことが起きる前に手を打っておかねば、ということではなかつたでしょうか。そして、学園の理事にもなられていよいよこれからのというときに、突然の訃報で、私たちは声もなぐただため息をつくばかりでした。

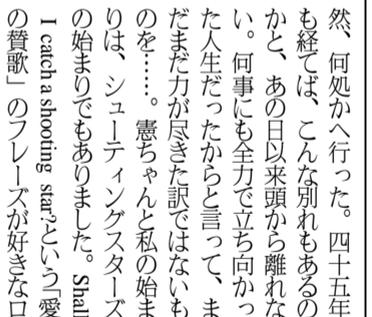
この二十年余の間、誰よりも親身になって、北星の応援団長として同窓会と後援会を率い、ひたすら無私なご尽力をくださった遠藤会長、本当に有難うございました。どうか天国から北星の行く末を見守ってください。遠藤憲一さん安らかに。

追悼 遠藤前会長 長との思い出  
英文67年卒 佐藤 富美子

然、何処かへ行った。四十五年も経てば、こんな別れもあるのかと、あの日以来頭から離れない。何事にも全力で立ち向かった人生だったからと言って、まだまだ力が尽きた訳ではないものを……。憲ちゃん私の始まりは、シューティングスターズの始まりでもありました。Shall I catch a shooting star...? 愛の賛歌のフレーズが好きなのマンチストが、小さな夢を北星学園大学に咲かせた。簡単な事ではありませんでしたが、頑張っていく中で、仲間意識と信頼が育っていききました。卒業後も今まで、何処にいても途切れることなく友情が続いたのは、あの頃があったからでしょう。夢中になったあの頃が、年月を越えて、益々楽しい思い出として残りました。不思議な偶然で、同じ年に札幌に戻り、また後輩と共にシューティングスターズが復活したのです。三年前のコンサートで「五年後に、また会いましょう」と、挨拶したのは御本人でした。これから先、何度もう振り返り思い出が出来るのにと、思つと、残念としか言葉がありません。十年前に、我家の新築祝いに頂いた「ねむの木」が、去年の七月に、初めて花を二つ咲かせました。御冥福を、心からお祈りいたします。

### 新企画プロジェクト委員会での思い出

英文67年卒 小野田 久美子



1967年撮影

活動の一環として「文化的なこと」で同窓生や一般の方々へ貢献できないか」という遠藤さんの発案のもと「新企画プロジェクト委員会」を立ち上げることになり、昨年退くまでの10年余活動に携わりました。好きなように運営してよい」という寛大な言葉通り、予算のこと等を心配することなく講演会やコンサート等の企画を立案し、実施することができました。大学はじめ多くの方々にご協力をいただきましたが、陰で支えてくださった遠藤さんのお力添えが何よりも大きかったと感謝しております。年々多くの方々へ参加いただけるようになりました。開演前のご挨拶では、いつも大学のPRを忘れずに、大学に対する強い思いを持たれていたことが思い出されます。

「基盤が整ったし、今度は観客として参加しよう」と会長勇退を宣言され、これからの活動に励もうという矢先に天国に召されました。

後輩達が遠藤さんの遺志を受け継ぎ大きく発展させてくれることと思ひます。どうぞ見守ってください。ご冥福をお祈りいたします。

活動の一環として「文化的なこと」で同窓生や一般の方々へ貢献できないか」という遠藤さんの発案のもと「新企画プロジェクト委員会」を立ち上げることになり、昨年退くまでの10年余活動に携わりました。好きなように運営してよい」という寛大な言葉通り、予算のこと等を心配することなく講演会やコンサート等の企画を立案し、実施することができました。大学はじめ多くの方々にご協力をいただきましたが、陰で支えてくださった遠藤さんのお力添えが何よりも大きかったと感謝しております。年々多くの方々へ参加いただけるようになりました。開演前のご挨拶では、いつも大学のPRを忘れずに、大学に対する強い思いを持たれていたことが思い出されます。

### 遠藤前会長の遺志を継いで

社福70年卒 前大学事務局長 阿知良 俊一

遠藤前会長がご逝去された日のお昼過ぎに、大学時代の先輩から前会長がご逝去されたとの電話を頂きましたが、俄に信じがたいことでした。

ご逝去の数日前に、短期大学部同窓会との統合が実現したのを機に、会長を退任したいとの意向を得たとの電話を頂き、ご了承を得たとの電話を頂き、これからは大学にとっても、学園にとっても、同窓会の役割がますます重くなることを語り合つたばかりだったからです。

遠藤前会長が就任した時期の同窓会と大学の関係は、それだけが互いに期待することだけが大きく、互いの溝が埋まらない状態が続いていました。遠藤前会長は就任早々に「同窓会は大元となるべき」と強く主張され実践されました。

遠藤前会長の功績は数多くあると思ひますが、同窓会のことでも、大学のことでも知る卒業生としては、前会長が築かれた同窓会と大学の絆を、今にも増して強固にすることが遺志を継ぐことであると確信しつつ、ご冥福をお祈り申しあげます。

活動の一環として「文化的なこと」で同窓生や一般の方々へ貢献できないか」という遠藤さんの発案のもと「新企画プロジェクト委員会」を立ち上げることになり、昨年退くまでの10年余活動に携わりました。好きなように運営してよい」という寛大な言葉通り、予算のこと等を心配することなく講演会やコンサート等の企画を立案し、実施することができました。大学はじめ多くの方々にご協力をいただきましたが、陰で支えてくださった遠藤さんのお力添えが何よりも大きかったと感謝しております。年々多くの方々へ参加いただけるようになりました。開演前のご挨拶では、いつも大学のPRを忘れずに、大学に対する強い思いを持たれていたことが思い出されます。

### 多様な趣味人であった遠藤先輩

社福70年卒 阿知良 俊一

多彩な趣味人であった遠藤先輩、あの世とやらでも「将棋詩酒(きんきししゅ)」「ギターを爪弾き、マージャン卓を囲み、美しい詩をつくり、おいしい酒を飲んで風流を満喫して下さい。ご冥福を心よりお祈りいたします。

多様な趣味人であった遠藤先輩、あの世とやらでも「将棋詩酒(きんきししゅ)」「ギターを爪弾き、マージャン卓を囲み、美しい詩をつくり、おいしい酒を飲んで風流を満喫して下さい。ご冥福を心よりお祈りいたします。

多様な趣味人であった遠藤先輩、あの世とやらでも「将棋詩酒(きんきししゅ)」「ギターを爪弾き、マージャン卓を囲み、美しい詩をつくり、おいしい酒を飲んで風流を満喫して下さい。ご冥福を心よりお祈りいたします。

多様な趣味人であった遠藤先輩、あの世とやらでも「将棋詩酒(きんきししゅ)」「ギターを爪弾き、マージャン卓を囲み、美しい詩をつくり、おいしい酒を飲んで風流を満喫して下さい。ご冥福を心よりお祈りいたします。

多様な趣味人であった遠藤先輩、あの世とやらでも「将棋詩酒(きんきししゅ)」「ギターを爪弾き、マージャン卓を囲み、美しい詩をつくり、おいしい酒を飲んで風流を満喫して下さい。ご冥福を心よりお祈りいたします。

# 新企画プロジェクトからのお知らせ

今年から講演会・コンサートなどの主催は、同窓会から大学に変更となります。これまでとおりプロジェクトは、さまざま企画を予定していますので、今後とも皆さまの御支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 【オペラ・OPERA・おぺら in 北星No.7】

～札幌オペラスタジオメンバーとバリトン歌手柴山昌宣氏 共に歌う～

日時：5月23日(土) 午後2時から

会場：本学チャペル

### SOSからのメッセージ

札幌でオペラが静かなブームです。会場のお客様と一緒に歌う参加型で、有名なアリアをパロディ化したオペラ井戸端会議ミニオペラを予定しています。楽しいあて振りを入れながらより分かりやすく解説してオペラ名場面の数々をお届けします。ゲストには、音楽の友社出版「グランドオペラ」の世界の名歌手に選ばれた柴山昌宣氏をお迎えしてアンサンブル、有名なアリアなどを歌っていただきます。笑いあり、涙ありのオペラコンサートを御期待ください。(札幌オペラスタジオ代表・井出祐子)

#### ●ゲスト

柴山 昌宣 (バリトン)  
国立音楽大学大学院音楽研究科オペラ専攻修了。  
1995年第6回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。  
藤原歌劇団団員。



### オペラコンサートの申し込み方法について

受付開始日は5月7日(木)です。「オペラコンサート参加希望」とお書きになり、氏名、連絡先、電話番号、参加希望人数を明記の上、ハガキ又は電話・FAX、メールでお申し込み下さい。その時点で受付となります。

#### 申し込み・問い合わせ先

〒004-8631  
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1  
北星学園大学同窓会事務局  
同窓会プロジェクト係  
TEL:011-891-2731 FAX:011-892-6097  
e-mail:dousoukai@hokusei.ac.jp

#### お願い

友人・知人の方もぜひお誘いください。なお、小さなお子さんの入場はご遠慮下さい。

#### 〈予告〉

日本フィルコンサート  
9月13日(日)午後3時から

日本フィルハーモニー交響楽団員による弦楽四重奏コンサートを開催いたします。詳細は次号「大谷地だより」にてお知らせします。

#### 札幌オペラスタジオメンバー

柳生たみ・東條磨見子・三浦由美子・村山元子・小平明子・小貫多喜子・佐々木有希・福島由紀子・坪田由里子・佐藤栄里子・松岡亜弥子・大内希

### 同窓会プロジェクト 会員募集

同窓会から広く会員を募集します。

活動内容：講演会、コンサート等の企画立案・実施、「大谷地だより」「プロジェクトからのお知らせ」紙面の作成

活動日：毎月第2水曜日(不定期に臨時例会があります。)

興味、関心のある方はぜひ下記までご連絡下さい。お待ちしております。

北星学園大学同窓会事務局  
同窓会プロジェクト係  
TEL 011-891-2731 FAX 011-892-6097  
e-mail:dousoukai@hokusei.ac.jp

### 講演会報告

## 長倉洋海講演会

### 「フォトジャーナリストの眼」

#### 「僕の出会った人々」



去る十月十一日(日)、フォトジャーナリストの長倉洋海さんをお迎えして、講演会を開催いたしました。

長倉さんは、アフガニスタン、エルサルバドル、コソボなど世界の紛争地やアマゾンなどの辺境の地で暮らす人々を三十年の間、取材してこられました。厳しい現実を跳ね返すような人のたくましさやその美しさに触れ、それを自分の写真に写し込みたいと願って行動されてきました。今回は今まで撮ってこられた中から九十枚ほどの写真を上映しながら、行動の原点となるようなお話や、さまざまエピソードをお話されました。

若いころは自分と世界をつなげる何かが見つからず、暗闇の中にいた。エルサルバドルの戦場では、死体がひとつの構図に見えてきたりもしたそうです。そんな中で、カルロス君というピリヤードで暮らす少年や、難民キャンプで暮らすヘブスという少女と出会い、目の前の一つひとつのこと、あるいは世界の一端

き、生きている人間こそ、自分に感動を与えるのだ、と気づいたそうです。また、大手メディアの情報からは抜け落ちた情報にこそ共感できるものがあると感じ、写真を撮ることで、世界とつながってきたとも話されました。

アフガニスタンで出会った活動家マスのドの話や、コソボで出会ったザビド一家の話などからは、とても悲しく、重い現実を知らされました。「山と山は出会えないが、人と人は出会える(トルコの諺。僕たちは出会えるよね)」とトルコの少年ナージュ君は言った、と長倉さんが話された時、会場の人々は、出会って、違いを乗り越える大切さを胸に刻んだことでしょう。

アンケートには「教科書の中の地図ではなく、自分の作った地図を求める、という言葉に感動しました」「言葉は通じなくても、好きという気持ちは通じるといふ言葉が一番心に残りました」などたくさん感想が寄せられました。

面を撮りつづけることで世界を把握し、自分も変わり、ゆつくりと世界を見られるようになった、とのことでした。

さまざま人間と出会うことで自分が見えてきたこと、生活を共にする中で「同じ人間なんだ」と思え、信頼関係を築くことができた。

### コンサート報告

## 「渡部大三郎と音楽仲間」

去る九月二十日(日)、本学チャペルにおいて、クラリネット奏者渡部大三郎さんと音楽仲間によるコンサートが開催されました。ロシア音楽を中心に「クラシックとジャズ」の世界にチャペルが包まれました。渡部さんが楽しいお話



を交えながら、それぞれの曲を説明して下さったのがとても好評でした。第一部は、アラム・ハチャトゥリアン「クラリネット、ヴァイオリン、ピアノの為の三重奏」、第二部は「枯葉」「聖者の行進」などジャズの名曲の数々でした。クラリネット、ピアノ、ピアノの素晴らしい音色とドラムの力強さが溶け合った演奏は、私たちの心に染み透り、エネルギーと感動を与えてくれました。

### 「地平線の音楽」

## 馬頭琴と喉歌のコンサート

去る十二月十三日(日)、馬頭琴奏者の嵯峨治彦さん、ギターリストの星直樹さん、かたりりしたなかたかさんをお迎えして、「地平線の音楽」馬頭琴と喉歌のコンサートを開催いたしました。

馬頭琴はたった二弦の、三味線に似た楽器ですが、音が



重層的に響き、まるでいくつもの楽器が奏でられているように感じました。また、喉歌(ホーミー)の体験を通して、人体の神秘を感じました。ギターや「スフの白い馬」の語りとのコラボレーションも、素晴らしいものでした。目を惹くようなサウンド、モンゴルの草原が広がるようでした。私たちが、欧米の音楽には触れる機会に恵まれています。アジアの音楽には、それほど接する機会はないのではないのでしょうか。「馬頭琴の音に出会うのが願いました」西洋音楽とは違った魅力、素晴らしい音が詰まった「馬頭琴」など、来場して下さった多くの方が、モンゴルの楽器である馬頭琴の音色にはじめて触れ、感動して下さったことにも、そのことが表れていました。

# 卒業にあたって

## 私の大学観

文学部 心理応用コミュニケーション学科

棟方 雅恵



私は子供のときから、この世のいろんな事柄に納得できませんでした。ひとはどうして悪いとわかっていて、それをしようのか不思議で仕方ありませんでした。私は単純な人間ですので、物事を考える際に「良いことか」「悪いことか」で考えます。ですから、格差や差別を肯定する理屈には常に怒りを感じます。怒っているだけでなく「変だ、悪いことだ」とも言います。でも何がどうがオカシイのかわからないので、怒るばかりです。怒っているだけでは人は納得してくれないです。「いつも怒っている変なオバサンだ」で終わってしまっています。人生が「変なオバサン

だ」から「変なオバサンだったよ」で終わってしまうのはあまりに無念。そこで私は大学で、物の言い方を身につけようと考えました。これが大学入学の動機でした。

今、卒業を前にしてわかったのは、大学とは、本の選び方、読み方、表現の仕方を知ることだということです。大学は知の集合体。古いものから最新まで全部揃っています。その量に圧倒されました。また、大学は文献や資料とのやりとりの仕方を身につける場所でした。文獻とのやりとりはケンカと似ていて「自分はすごいんだぜ」「感心しない」と脅してきます。一方、こちらは「これの弱点はどこか」と探します。

この世の理屈は融通無碍に変化します。それに感ぜられないためには、事象の原理原則を知り自分の価値観を立ち上げる。ところが一番であることが、この世とのケンカの仕方を学び取る。ところがだと言います。

## 報恩の決意

経済学部

経済法学科 前畑 康生



幅広い知識や技能、人間性を涵養することを志し、北星学園大学の門を叩いて四年一振り返ればあの頃が、本当に遠い昔に思えます。北星での四年間は、それだけ深く、濃いものだったのです。

一年生の頃を省みると、未熟だった自分(今でもそうですが)が思い浮かびます。そんな私の話を聞いて、諭してくれた友人や先輩達には、足を向けて寝られません。特に、当時所属していた学生自治会執行委員会の先輩には、人生を教わったと

## 生きることは可能性にむかって歩くこと

社会福祉学部

福祉臨床学科 杉本 直子



大学生活において得たものの一つは学問の面白さです。けれども果たしてどの分野でも面白く勉強できたかという点、やはり福祉という分野が自分自身の興味や関心に合っていたから飽きずに勉強を続けてこれたのだと振り返ります。福祉臨床という学問の面白さは一筋縄ではいかないところではないかなあと感じていました。立派な理論や知識があってもそれがスマートに活かされない矛盾や葛藤の現実が多々あるからです。

私は入学前から福祉の現場にいても過言ではありません。二年生の時に、様々な方と交流させていただくために友人と作ったサークル『簿記研究会』でも、サークルを作らなければ得られなかったであろう、多くの学友を得ることができ、自分の世界を拡張できました。また、職員の方にも大変お世話になりました。

学問の道は決して平坦ではありませんでした。しかし、先生方のご指導によって、多くのことを学ばせていただきました。今年四月からは大学院MBA(経営学修士)コースに進学致しますが、北星で得た土台をもう一度、知識や知恵を構築していきたいと思っています。

このように、北星では、本当に多くの人たちに育てていただきました。今度はその恩返しとして、北星で得たものを社会に還元させていただくべく、精進していく所存です。

## 充実した二年間

短期大学部

英文学科 森山 果南



私は留学を希望し、北星学園大学短期大学部英文学科に入学しました。北星短大で過ごした二年間はあっという間で、英語にたくさん触れたいという私の願いを叶えてくれるものでした。

短大には多くの外国人の先生やチューターがいます。オーラルイングリッシュは、少人数クラスなので英語を話す機会が多々あります。昼休みにはイングリッシュランチがあり、先生やチューターと話しながら昼食をとるのでより一層コミュニケーション能力を身につけることができました。

英語による一般科目の授業では英語ネイティブスピーカーの

は理想を抱いておらず、大変冷めた生徒でした。大学で学んだ福祉の「理念」はまっとうすぎて唾然とさせられました。しかしそれ故にある種の感動もありました。どんなに理想と乖離している現実を前にしても挫けずに立ち向かうとする情熱と忍耐強さへの感動。そこには希望がありました。人間とその未来を信じようとする力が感じられました。

信じるという行為は容易いことではありません。他人はもとより、自分すら自分を裏切るような、人間とは弱い生き物です。しかし、その弱ささえ糧にして成長できるのが人間の底知れない力でもあると思います。生きることはあらゆる可能性が残されていると思うのです。

在学中におけるたくさんの出会いが教えてくれました。相手の中にも、自分自身の中にも、どんなときでも可能性を見つけて動きかけてゆけるような支援者を目標として、卒業後も成長していきたくです。

先生方によって講義が進められたため、TOEICやTOEICのリスニング対策ができました。他にも、英語のレポートなどの添削してくれるライティングラボがあります。ネイティブの先生が添削してくれるので、より自然な英語表現を知ることができ、文章を書くコツも学ぶことができました。

一年生の後期に四ヶ月間カナダに留学しました。前期に英語の基礎となる授業を取っていたので、留学先でそれを生かすことができました。英語を話すことに慣れていたので、留学先で抵抗なく会話ができ、充実した留学生活を送れました。私は「留学」という目標を達成しただけでなく、精神的にも自分を成長させることができました。私は英語を通して人との出会いを大切にすることを重要さを改めて感じました。これからも一つ一つの出会いを大切に、自分をより一層成長させたいと思っています。

## 同窓生に感謝して

学生支援課 西澤 光則



四十年 前学生課 (現学生支援課) に採用されたころ、芋畑と思いきがまだ残るところにコンクリート四階建て教室とひときわ目立つチャペルの塔に連なる平屋建てプレハブ校舎(後に卒業生が工事現場か飯場小屋と思ったと語った)。プレハブ教室は、雨が降ると雨音で授業中断・夏は太陽熱で蒸風呂、冬は吹雪くと隙間から雪が入ってくる教室と食堂が繋がっていた。コンクリートの建物以外は、石炭ストーブで暖をとっていた。

四十年を経て少しずつ増改築や建替えを繰り返して、今では冷・暖房の校舎、エレベーター設置、PC教室、夜間開館の図書館、大学会館、サークル棟、新合宿集会所「ギョリ」(脱風寮から合宿所になった施設)やロードヒーティング敷設、地下鉄駅も徒歩七・八分の場所となり、施設・設備・通学等勉強環境が飛躍的に整った。

これまでの厳しい学生生活環境にあって、学びそして社会で誠実に活躍する大勢の同窓生がいて、大学が社会から高く評価されたことが今日まで大学を大きく成長させてきたものと思っております。

多くの同窓生のお働きに感謝するとともに仕事をとおして交わりをいただいたことは、私にとって宝です。喜びでもあります。人事異動で一時期大学を離れた期間を除けば、三十余年の間、学生課、学部事務室、情報・国際・言語センター、等々様々な仕事を介して同窓生のみならずとも学園生活(大学生活)をさせていたいただき感謝申し上げます。

今年度卒業される同窓生もそうであることを願いつつ、社会にあって活躍されますことを念じ退職にあたりお礼を申し上げます。

## 学生への眼差し

司書課 武本 昇三



大学における学生と教員の関係は、臍がは、臍が

すんなり合わさった一対の組柱のように見える。嵌合がぴったりと合えば、互いの人生をも決定する強い絆だ。他方、職員とはどういふ存在であろうか? 学生が職員を、職員が学生をほんやりと眺め合っていた時間を、私は今、名残惜しく感じている。

東大や日大の紛争が人々の記憶から遠ざかろうとしていた三十七年前、私の通う二百名足らずの図書館学校にも季節はずれの騒乱は起こった。既に十分な教訓を積んでいた行政職員への対応は早かった。三人寄れば無届集会所と見做された。出入りに学生証の提出が義務付けられ、提出しない者は入構を拒否された。ひとりで通すため、わざと幅を狭めた2mを越す高板塀のくねくねとした通路が、学生たちの、朝な夕な新たな校門となった。真理や自由にとりわけ近いところにあるべき図書館学校は、暴力や権力と訳されるゲヴァルトの行使に見舞われ、学生は屈辱のうちに敗北した。

教官である教員より職員に、一介の勤労者であるが故に勝手な共感を寄せていた、浪花節のような私の純情は、文部事務官という官吏の前でもくも吹き飛んだ。いや、壊れた信頼関係に苦しんでいたのは学生だけでない。遠くから我々に注ぐ、司書職員の憂いを含んだ眼差しが、いつもそこにはあった。そんな苦々しい学園体験をもつ私が、ここで大学職員となっ

## 退職される職員から

た。紛争鎮圧の辣腕が買われ、後に日大の事務方のトップに栄転した当時の事務長が、卒業試験をホイコトし、ひとり同盟留年して学校に反抗していた私に、真っ先に、この大学からの採用募集の知らせをくれたという、歴史の逆説も働いた。が、追われるように学校を出た私の心は、たっぷりと液に浸されず、未だ吸う隙間を硬く残したままの海綿のように、満たされてはいなかった。どこかに真正の大学臭さを求めていたことは間違いない。

「学生には私のような体験を職員としてこまめに勧められたい。真にはそんな一念があった。幸い、この大学で学生は「自由」である。

これからもそうであり続けることを、心から願わずにはいられない。拙稿が「尋ね人」に作用すれば、かつての知己ある麗人と再会する機会でも得られようかと、よこしまな考えがちらりとよぎらない訳でもないが、紙面を見た卒業生たちから懐かしい声がかかって来たとしたら嬉しい。

この朝 旅によう はるか旅に。カマフラ撮影機を持たず列車や飛行機の分ぎぎみの時刻表を調べる わずらわしさもない。

毎朝 急いでする身支度のままで この街のいつものコースを 行き帰ればよい。

だが、しかし いつも見る風景のたつまい パブルが崩壊し、拓銀の破綻、就職協定廃止など、学生たちの就職活動が大きく変化していく時でした。

「自分の意見を押し付けたくない、学生の話を聞いてあげてください」という先輩職員たちの

## 出発

就職支援課 大塚 園子



付属高校から異動し、就職支援課で十一年

間働いてきました。配属になった一九九七年は、バブルが崩壊し、拓銀の破綻、就職協定廃止など、学生たちの就職活動が大きく変化していく時でした。

「自分の意見を押し付けたくない、学生の話を聞いてあげてください」という先輩職員たちの

# 本学学生大活躍!

## 金メダル獲得

### セパタクロー世界選手権で優勝

経済学部経済法学科四年 萩原 雄太

カ、ドイツなど世界十八カ国が参加しました。その中で上から Premier Division、Division 1、Division 2 で構成される組み合わせがあり、日本は真ん中のランクの Division 1 に出場しました。

セパタクローはバドミントンコートの中で三人対三人で行う、主に足を使うバレーボールのようなスポーツです。

昨年八月末にタイのバンコクで開催された、第二十三回キングスカップ セパタクロー世界選手権大会に、日本チームの一人として参加し、チーム戦で金メダルという結果を収めることができました。この大会にはタイ、マレーシア、などのアジア諸国をはじめとして、アメリカ

#### チームの目標はもちろん優勝

・来年、もう一つ上の世界一のリーグで戦うために、優勝しなかつたこと  
・いつも自分達を応援、支援していただいている全ての人の結果を持って報告をしたいという気持ち  
・今、自分達日本代表が結果を残し続けることが、今後の選



萩原さん

この三つを強く胸に秘め、自分達は合宿を乗り越え、大会へ臨みました。  
チーム戦とは一レク(三人一チーム)×三試合十サブメンバ―三人を加えた十二人から構成され、チーム全員で戦う国別対抗戦です。ラオス、シンガポール、インド、イランとの予選を全勝で終え、チームの結束力が一段と高まっていったのがとても鮮明に思い出されます。決勝はリーグ一位の日本、同じく二位のラオスとでした。  
選手一人一人が全力でプレーし、そして気持ち一つに応援することで生まれる団結力、信頼、そして勝利に対する強い思いと  
応援して頂いた  
たくさんの方々からの気持ちから形となって手元に届いた瞬間です。  
この優勝という結果は日本チームだけで得たものではなく、日頃から本当にたくさんの方から応援、支えがあったからこそこの結果であると強く思い、とても深く感謝しています。ありがとうございました。  
これからも自分達が信じてやっているこのスポーツを少しずつ世に広げ、いつか日本が世界一になったときにたくさんの方々に注目してもらえよう、またその時にコート中央に立っていられるよう、引き続き世界で勝つことを目標に練習し、さらに普及活動にも力を入れていきます。



「夢を現実に」セパタクローというスポーツにこれからも注目ください。  
応援よろしくお願いします。

## 北海道から初!

### 第五十三回文部科学大臣杯全国青年弁論大会

社会福祉学部福祉心理学科一年 戸田 智美

#### 一般の部 最高賞受賞

これが私が弁論の世界に足を踏み入れたきっかけです。高校入学と同時に始めた弁論。七分間という限られた時間の中で自身の経験などを表すに意見をまとめ、それを表現する面白さに魅了された私は高校時代のほとんどを弁論に費やしました。しかし当時の私にとっての弁論は単なる好きなことの一つ。その考えが大きく変わる転機が訪れたのは、高校三年生の最後の全国大会のときです。そのときの大会成績は第二位の優秀賞。今までで一番良い賞を受賞し



たのですが、私の心は複雑でした。なぜなら緊張のあまり動揺し、自分の力を十分に発揮することが出来なかつたからです。あのとき、もっと表現に集中していれば...。生まれて初めて『後悔』という苦い気持ちを知った瞬間でした。高校卒業を機に弁論から離れようと思いましたが、「先生はお前に最優秀賞とって貰いたい」という恩師の言葉に後押しされて再挑戦を決意。大学には弁論部がなかったため、母校の弁論部の先生に原稿の添削と練習場所の提供をお願いし、全国大会の出場費と旅費はアルバイトで稼ぐことにし

ました。部活動という決められた時間がない中で原稿作成に苦労したり、初めてのアルバイトで戸惑うことも沢山ありましたがその中から時間を上手に使うことの大切さやお金を稼ぐことの難しさを知ることができました。そして同時に私の周りにはいつも私を支えてくれる心優しい人たちが沢山いることにも改めて気付かされました。そんな私が今回弁論のテーマに選んだのは「相手の話を傾けることの大切さ」。昨年始めて北海道で開かれた幼稚園児による弁論大会のエピソードと幼い頃の家族との思い出をもとに、コミュニケーションの大切さを訴え、この度の全国青年弁論大会で最高賞にあたる文部科学大臣杯を受賞することが出来ました。今改めて振り返ってみると弁論は私に成長するきっかけと、かけがえのない人との出会いを与えてくれたのだ



全国青年弁論大会

## スポーツニュース

報告のあったサークルのみを紹介しています(新人戦を除く)。  
全国大会、全道大会(またはそれに準ずる大会)の順位のみ掲載(個人戦はベスト4まで)しています。

【サッカー部】  
◆2008北海道インディペンデンス「I」リーグ  
1st Round Group B 3位  
2st Round Division 3 3位  
◆2008年度北海道学生サッカーリーグ2部リーグ3位  
【ラグビー部】  
◆平成20年度北海道地区大学ラグビーフットボール選手権大会  
1部 5位  
【競技ダンス部】  
◆第41回全北海道学生競技ダンス選手権大会  
クイックステップ 2位  
ワルツ 2位 佐藤 亮平  
【バスケットボール部】  
◆男子第60回女子第53回北海道学生バスケットボール選手権大会  
男子2部 6位・女子2部 優勝  
【少林寺拳法部】  
◆第19回少林寺拳法大会  
自由組演武 高校大学有段の部  
最優秀賞(1位)  
守谷 侑子 藤井 勇矢  
規定単独演武 一般段外の部  
最優秀賞(1位) 板橋 諒  
【陸上競技部】  
◆第3回フロンティアアスロン混成スプリント(1000m、2000m、4000m) 2位  
小林 靖幸  
◆第55回(平成20年度)北海道地区大学体育大会  
2000m 2位 小林 靖幸  
4000m 2位 熊谷 健吾  
5000m 2位 橋本 拓哉  
男子4×1000m R 2位  
小田切智久 國崎 慎史  
前田 北斗 小林 靖幸  
男子4×400m R 2位  
小田切智久 小林 靖幸  
渡部 優 熊谷 健吾  
男子走幅跳 2位 橋本 崇司  
女子800m 2位 藤井 千沙  
◆第37回北海道学生陸上競技選手権大会  
女子5000m 2位  
竹内はるか  
◆第6回全日本大学女子選抜駅伝競走  
北海道学連選抜選出  
竹内はるか

◆第34回学生選手権(秋季リーグ戦) 1部リーグ 6位

◆第33回学生合気道選手権大会  
団体戦 3位  
◆第5回北海道学生選抜合気道大会 兼 選抜部  
女子総合乱取試合 3位  
鳥本佳央里  
【硬式野球部】  
◆平成20年度北海道学生テニス選手権大会  
女子ダブルス 3位  
小林 祐佳 安川 千尋  
◆平成20年度全日本テニス選手権大会北海道予選  
女子シングルス 準優勝  
◆アメリカンフットボール部  
◆第34回学生選手権(秋季リーグ戦) 1部リーグ 6位

## 証明書申込方法が変更になります

◆申込は窓口か郵送のみ、本人の身分証明書が必要  
◆情報セキュリティのため、卒業生の証明書申込方法を三月から変更させていただきます。  
①申込は窓口または郵送のみ(電話申込は廃止)  
②身分証明書の確認が必要  
(郵便申込時は写しの同封が必要)  
③代理人申込が可能(家族含む)  
(指定の委任状が必要)  
詳細については、大学公式ホームページでご案内しています。  
◆不明な点は、電話で学生支援課宛までご確認ください。

## 大学貸与奨学金を返還中の方へ

◆住所変更等の際には大学ホームページをご利用ください!  
◆個人情報保護のため、住所変更等の送信専用フォームを作成しました。ご本人は勿論、保証人の方の住所変更等がございましたら必ずご連絡ください。  
☆大学公式ホームページ  
(http://www.hokusei.ac.jp)

## 編集後記

◆同窓生の仲間入りをした新入会員の皆様、卒業おめでとうございませう。同窓会と北星学園大学・短期大学部は皆さんの青春の延長線上で、これからも深く繋がっています。  
このさき年に二回お届けする、この「大谷地だより」はきっと皆さんの大学時代の淡い思い出を懐古させてくれることでしょう。ご期待のうえ、是非ご覧いただけたいと思います。  
尚、四月から転居等で現住所が変わられる方はお電話・メール等で同窓会事務局へご一報ください。よろしくお願ひします。  
dousenkai@hokusei.ac.jp  
(事務局 樋口)